

# 2022年度(2023年3月期) 決算の概要

2023年5月12日



大光銀行

# 目 次

I. 2022年度(2023年3月期)決算の概要	
1. 損益状況	
(1) コア業務純益・実質業務純益 .....	1
(2) 経常利益 .....	2
(3) 当期純利益 .....	3
2. 業務計数	
(1) 貸出金 .....	4
(2) 預金等・預り資産 .....	5
3. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権 .....	6
4. 自己資本比率 .....	7
II. 2023年度(2024年3月期)業績予想 .....	8

※本資料の前年同期比・増減率欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

# I. 2022年度(2023年3月期)決算の概要

## 1. 損益状況

### (1) コア業務純益・実質業務純益

- コア業務純益は、前年同期比20億68百万円増加し、59億76百万円。  
投資信託解約損益の増加により資金利益が増加したほか、経費の減少や役務取引等利益の増加などにより、前年同期比で増益となった。
- コア業務純益(除く投資信託解約損益)は、前年同期比5億89百万円増加し、39億4百万円。
- 実質業務純益は、前年同期比3億31百万円減少し、30億6百万円。

(単位：百万円)

項目	2023年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
コア業務純益	5,976	3,908	2,068
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	3,904	3,315	589
実質業務純益	3,006	3,337	△ 331

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益  
 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額  
 = コア業務純益 + 国債等債券関係損益

#### 【コア業務純益の変動要因】

##### ○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	2023年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益	16,398	14,962	1,436
経費	11,627	12,138	△ 511
うち人件費	6,641	6,723	△ 82
うち物件費	4,318	4,720	△ 402
役務取引等利益	1,175	1,051	124

##### <参考>資金利益の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2023年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益 ① (②+⑤+⑦)	16,398	14,962	1,436
預貸差利益 ② (③-④)	11,090	10,977	113
貸出金利息 ③	11,268	11,216	52
預金等利息(※) ④	177	238	△ 61
有価証券利息配当金 ⑤	5,099	3,713	1,386
うち投資信託解約損益 ⑥	2,071	593	1,478
その他 ⑦	209	272	△ 63

【参考】資金利益(除く投資信託解約損益) ①-⑥ 14,327 14,369 △ 42

(※) 預金等利息 = 預金利息 + 譲渡性預金利息

## (2) 経常利益

○経常利益は、前年同期比3億84百万円減少し、21億58百万円。

コア業務純益が増加し、実質与信関係費用は減少したものの、有価証券関係損益を主な減益要因として、前年同期比で減益となった。

(単位：百万円)

項目	2023年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
経常利益	2,158	2,542	△ 384

○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	2023年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
コア業務純益	5,976	3,908	2,068
実質与信関係費用	562	886	△ 324

<参考1> 実質与信関係費用の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2023年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	562	886	△ 324
①一般貸倒引当金繰入額	△ 159	69	△ 228
②不良債権処理額	995	1,067	△ 72
うち個別貸倒引当金繰入額	473	621	△ 148
うち貸出金償却	504	408	96
うち偶発損失引当金繰入額	16	37	△ 21
③貸倒引当金戻入益(△)	-	-	-
④偶発損失引当金戻入益(△)	-	-	-
⑤償却債権取立益(△)	273	251	22

○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	2023年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
有価証券関係損益(①+②)	△ 3,543	△ 787	△ 2,756

<参考2> 有価証券関係損益の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2023年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
有価証券関係損益(①+②)	△ 3,543	△ 787	△ 2,756
①国債等債券関係損益	△ 2,969	△ 571	△ 2,398
②株式等関係損益	△ 573	△ 215	△ 358

【参考】 投資信託解約損益(③)	2,071	593	1,478
①+②+③	△ 1,472	△ 194	△ 1,278

### (3) 当期純利益

○当期純利益は、前年同期比7億65百万円減少し、12億62百万円。

【2023年3月期の損益状況（単体）】

項 目	(単位：百万円)		
	2023年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
業務粗利益	14,633	15,475	△ 842
コア業務粗利益	17,603	16,046	1,557
コア業務粗利益（除く投資信託解約損益）	15,532	15,453	79
経費	11,627	12,138	△ 511
実質業務純益	3,006	3,337	△ 331
コア業務純益	5,976	3,908	2,068
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	3,904	3,315	589
業務純益	3,165	3,268	△ 103
経常利益	2,158	2,542	△ 384
(経常収益)	21,471	20,872	599
(経常費用)	19,312	18,330	982
特別損益	△ 364	214	△ 578
税引前当期純利益	1,794	2,756	△ 962
税金費用	531	729	△ 198
当期純利益	1,262	2,027	△ 765

コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益

コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額  
＝コア業務粗利益－経費

## 2. 業務計数

### (1) 貸出金

○貸出金残高は、前年同期比472億円(4.3%)増加し、1兆1,336億円。  
中小企業向け貸出が増加したほか、住宅ローンの増加により個人向け貸出も増加した。

(単位：億円)

項目	2023年3月末 (A)	2022年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
貸出金残高	11,336	10,864	472	4.3 %
うち中小企業向け貸出	4,993	4,877	116	2.3 %
うち個人向け貸出 (消費者ローン)	3,590	3,426	164	4.7 %
うち住宅ローン	3,383	3,215	168	5.2 %
地公体向け貸出	1,381	1,396	△ 15	△ 1.0 %

## (2) 預金等・預り資産

○預金等残高は、前年同期比76億円(0.5%)増加し、1兆4,515億円。

個人預金は減少したが、法人預金や公金預金が増加した。

○預り資産残高は前年同期比70億円(4.6%)増加し、1,566億円。

マネーアドバイザーを中心に、お客さまの資産運用ニーズに積極的にお応えし、投資信託、生命保険ともに増加した。

(単位：億円)

項目	2023年3月末 (A)	2022年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預金等残高(※)	14,515	14,439	76	0.5%
うち個人	10,094	10,149	△ 55	△ 0.5%
うち法人	3,843	3,756	87	2.3%
うち公金	533	485	48	9.8%

(※) 預金等残高 = 預金残高 + 譲渡性預金残高

(単位：億円)

項目	2023年3月末 (A)	2022年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預り資産残高	1,566	1,496	70	4.6%
投資信託	550	524	26	4.9%
公共債	96	105	△ 9	△ 8.5%
生命保険	919	866	53	6.1%

### 3. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

○不良債権額は、前年同期比29億円増加し272億円。

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や、原材料・エネルギー価格の高騰などの影響により、危険債権が増加した。

○不良債権比率は、前年同期比0.16ポイント上昇し、2.37%

(単位：億円)

項目	2023年3月末 (A)	2022年3月末 (B)	前年同期比 (A) - (B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	37	30	7
破綻先債権	3	5	△ 2
実質破綻先債権	33	24	9
危険債権	232	210	22
要管理債権	2	2	0
小計 (A)	272	243	29
正常債権	11,255	10,774	481
債権額合計 (B)	11,528	11,018	510
不良債権比率 (A) / (B)	2.37 %	2.21 %	0.16 <small>ポイント</small>

## 4. 自己資本比率

○自己資本比率は、単体・連結ともに前年同期比0.33ポイント低下し、単体が8.67%、連結が8.71%。

自己資本額(分子)は、利益の積上げなどにより増加した。

リスク・アセット(分母)は、積極的な営業推進による貸出金の増加などにより増加した。

○単体・連結のいずれも規制値(4%)を大きく上回っており、十分な水準。

(単位：億円)

項目		2023年3月末 (A)	2022年3月末 (B)	前年同期比 (A) - (B)
単 体	自己資本比率	8.67 %	9.00 %	△ 0.33 <small>ポイント</small>
	自己資本額	724	723	1
	リスク・アセット	8,353	8,035	318
連 結	自己資本比率	8.71 %	9.04 %	△ 0.33 <small>ポイント</small>
	自己資本額	729	728	1
	リスク・アセット	8,375	8,057	318

## Ⅱ. 2023年度(2024年3月期)業績予想

(単位：百万円)

項 目	通期 (2024年3月期)	
	連 結	う ち 単 体
経 常 収 益	19,440	19,030
経 常 利 益	2,230	2,190
当 期 純 利 益	1,070	1,050

※連結の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益であります。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。